

「あふれる緑と清らかな水に つつまれたまち」をめざして ～環境基本計画を見直しました～

望ましい環境像

「あふれる緑と清らかな水につつまれたまち」

諏訪湖をわたってくるさわやかな風がやさしくほほをなで、深い緑につつまれた山々が美しい稜線を描き、耳を澄ませばどこからか小鳥たちのさえずりが聞こえる、豊かな自然の息吹があふれ、人と自然が共生して四季の移り変わりを鮮やかに映し出す環境のまち

問合せ

環境安全課
(内線1166)

○環境基本計画の概要

環境基本計画には、長期的な視点に立った望ましい環境像と、これを実現するための6つの基本目標、より具体的な個別目標を明らかにするとともに、市が行う環境の保全に関する基本的な施策を示してあります。あわせて、市民のみなさんや事業者が自主的に取り組んでいただく、環境への配慮行動の指針を盛り込んであります。

計画は、平成12年度から概ね10年後を見据えて構成されたもので、ここで中間見直しを行いました。

○新たに主な指標をつくりました

望ましい環境像を実現するため、基本目標ごとに指標を設定して、数値目安として市民のみなさんによりわかりやすく示し、配慮行動とともに関心を高め、市民総参加で計画的に推進していきます。

基本目標1「すがすがしいまちづくり」

さわやかな空気、清らかな水に象徴される安全で健康的な生活環境の確保に努めます

指標1 シルキーバス利用者数

(公共交通機関を利用し自家用車による排出ガスを減らす)

平成16年度実績 191,016人 方向性 ↗

塚間川水質 (BOD※)

平成16年度実績 1.1mg/ℓ 方向性 ↘

※BOD(生物化学的酸素要求量)…水中の微生物が有機物を分解するときに消費される酸素量。河川の汚濁指標として用いられ、数値が大きいほど水が汚れていることを示す。





基本目標2 「自然とふれあえるまちづくり」

水や動植物とのふれあいの場の整備を推進するとともに、恵まれた自然環境を適切に保全するよう努めます

指標2 小鳥バス参加者数

平成16年度実績 572人 方向性 ↗



基本目標3 「物を大切に作る循環型まちづくり」

3R（ごみの発生抑制・再利用・再生利用）の推進、また、資源・エネルギーの有効利用に努めます

指標3 ごみ排出量・資源化率（ごみ減量、資源化）

	平成16年度実績		平成21年度目標	
可燃ごみ	15,632トン		13,510トン	
不燃ごみ	365トン		203トン	
資源物	4,492トン		4,458トン	
計	20,489トン		18,171トン	
資源化率	21.0%		24.0%	



基本目標4 「美しさと潤いのあるまちづくり」

経済性、利便性の追求だけでなく、環境に十分配慮した快適で潤いのあるまちづくりに努めます

指標4 諏訪湖一斉清掃ごみ回収量（ポイ捨て防止で湖周をきれいに）

	平成16年度実績		方向性
ごみ回収量	1,680kg		↘
資源物量（空き缶・びんなど）	100kg		↘

みなさんの努力により、諏訪湖周辺のごみが減って回収量も年々減少してきました。



基本目標5 「地球環境の保全」

地域における環境保全活動を通じて、地球環境の保全に貢献します

指標5 太陽光発電設置延べ件数（温室効果ガスの発生抑止）

平成16年度実績 260基 平成21年度目標 410基

雨水タンク設置延べ件数（エネルギー有効活用・地下水かん養・洪水対策）

平成16年度実績 44基 平成21年度目標 120基

設置者には市の補助金制度があります。



基本目標6 「市民総参加による環境保全」

市民一人ひとりが環境の現状を認識し、環境の保全に関する知識を身につけ、自主的な活動を推進します

指標6 諏訪湖一斉清掃参加者数

平成16年度実績 6,600人 方向性 ↗

○今後の計画推進方法

- ・啓発啓蒙活動として、「広報おかや」やホームページで計画内容や市民・事業者の配慮行動、環境情報をお知らせしていきます。
- ・市民のみなさんとの協働推進として、市民・事業所参加の環境会議や懇談会を実施し、自ら率先して環境活動を進める人を育成していきます。また、環境家計簿の普及を行なっていきます。
- ・指標数値や推進状況を定期的にまとめ、分析・評価して、目標の実現に向けたよりよい改善策を考え、実践していきます。